する際に参考となるであ 力などは教育目標を検討

を示す。一方、シーケン

カリキュラム・ポリシ

れる2学期制、クオータ

や交通機関の都合なども

企画室の中井俊樹教授に、カリキュラム構築の基本について寄稿しても 知られていないとも言える。そこでこのたびは、カリキュラムコーディ のように構築すれば、より効果的で成果の上がるものになるかはあまり まとめた。この中では、3つのポリシーに基づいたカリキュラムマネジ メント構築の重要性が謳われている。しかし、実際にカリキュラムはど **ネーター養成研修会の責任者を務める愛媛大学教育・学生支援機構教育** 文部科学省の大学分科会は、1月に「教学マネジメント指針」を取り

法についてもヒントになるに違いない。

らった。昨今の、新型コロナウイルス下での、カリキュラムの対応の方

多くの大学のディプロ られていることが多い。

ることで編成の方針を明

ィプロマ・ポリシーで示

る。マトリクス型は、デ 型の2種類に分けられ

目を授業群として設定す

科目の指針が法令で定め

定しているのかを示すの コープとシーケンスを設

キュラムマップは大きく されることが多い。カリ

マトリクス型とチャート

八材像や開講すべき授業

する場合は、育成すべき 必要とする職業人を育成

> う順序を示す。大学がど ように配列するのかとい

のような意図を込めてフ

リキュラムマップで補足

や関係性を図示化したカ ける授業科目間の系統性

をどのように学習させる 中心的課題は、学生に何 カリキュラムの構成要 その課題に向き合う前 カリキュラムのどの

成する、研究者を育成す 際の方向性や基準が明確 人を育成する、市民を育 歴史的に大学は、職業

キュラムの編成や評価の マ・ポリシーでは、認知

るといったさまざまな教 リキュラムにするために 編成方針 教育目標を達成する力

意領域といった領域ごと 領域、精神運動領域、情 に整理して教育目標が提 ある。また、卒業に必要 確にする方法も一般的で

な単位数も定めておく必

教育学においては、カ

の方針として系統主義と 目を配置し、学習の順序 リキュラムにおける編成

型は時系列上に各授業科 である。一方、チャート ュラムの各授業の整合性 された教育目標とカリキ を表の形でまとめたもの 義も多くの大学で取りる 区切りとは異なる集中講 学もある。また、通常の で細かく学期を区切る大

細かく6学期制をとって ー制と呼ばれる4学期制 などの方法がある。より

が向いている教育内容な いる大学もある。短期的 に集中して学習すること 週1回授業、週2回授業

やインターンシップなど るであろう。学生の留学 な学期の区切り方は変わ のかどうかによって適切 して実施する場合と異な る曜日の組み合わせで実 などの方法がある。週2 ーター制の導入に伴い、 施する場合がある。クオ 回授業には、2コマ連続

の活動を促す目的のもと 期の区切り、単位時間 式にする大学もある。学 トにして週2回授業の形 などの異なる曜日をセッ 月曜と木曜、火曜と金曜 開講頻度は相互に影響し 合うため、同時に検討す

ることができる一方、開

に最新の学問を取り入れ

講科目数が増加したり、

チである。分化アプロー

チは、カリキュラムの中

るべきであろう。

明確になる課題もある。

専門分野間の関連性が不

そのため、カリキュラム

全体の開講科目数をどの そって授業科目に落とし 程度にするのかは一つの 教育目標を編成方針に 目を設定することで、関 に学際科目や領域横断科

ことによって、教育目標 学生の選択の幅を増やす ことができる。一方で の授業を達成したりする ことができたり、少人数 多くの科目から選択する を増やすことで、学生は 課題である。開講科目数 の学問分野を越えて総合 例として、北海道大学で テグレート科学』という 的に科学を学習する授業 は物理、化学、生物など 点も重要になる。 統合アプローチの具体

00分授業、105分授 60分授業、90分授業、

> り除いて関連性を高める 統合アプローチという視

連する学問の間の壁を取

成人看護学と老年看護学 リアの方向づけを行うと 験することで学習やキャ けてから現場に出るので 習で知識や技能を身につ む方法である。講義や演 クスポージャーは、早い はなく、早期に現場を体 を体験する機会を組み込 時期に仕事や学問の現場 夫もある。アーリー・エ

中井俊樹

ろう。カリキュラムは、 あると言ってもよいであ かというカリキュラムで 教育理念にそって大学が 考慮すべき主要な論点を カリキュラムの構成要素 るのかを正しく理解する 部分を変えることができ キュラムの編成において べきである。ここでは、 に着目することで、カリ

(昭和30年3月28日第三種郵便物認可)

主体的に編成するもので

整理したい。

は異なり、カリキュラム る高等学校までの教育と ある。学習指導要領があ ポリシーの策定と公開が 教育目標である。現在で 最初に決めるべきものは は、大学にディプロマ・ 義務づけられており、デ 教育目標 カリキュラムにおいて

関心事であるようだ。ど は、多くの大学関係者の 変えることができるのか のようにカリキュラムを うに編成したらよいのか はの特徴を表現すること 量があり、各大学ならで 編成には大学に大きな裁 カリキュラムをどのよ るのかを示した教育目標 を身につけることができ 卒業時にどのような能力 が記されるのが一般的で ィプロマ・ポリシー上で

すべき基準がある場合も 示する分野別のカリキュ 教育目標は学外に参照

(5)

を設定することで、カリ

育審議会が提唱する学士

きものである。

ることも必要となるであ 視していくのかを検討す 学位プログラムごとにそ 育目標を掲げてきた。教 れらのどの教育目標を重 育目標を考える際には、 は

の方針を定める必要があ る。この方針はカリキュ カリキュラムの編成

ラム・ポリシーと呼ばれ ような教育内容を提供す う。スコープとは、どの 点をもつとよいであろ コープとシーケンスの視 方針を考える際には、ス カリキュラムの編成の

ら適切な方法を検討すべ 専門分野や学生の特徴か ある。一方、経験主義は

時間的枠組み

要である。学期の区切り という時間的枠組みも重 いつ授業を開講するのか カリキュラムにおいて

る。単位時間を変更する する大学も増加してい

も調整する必要がある。

制やセメスター制と呼ば

また、キャンパスの立地

などを統合した領域横断

が増加したりする課題も る傾向がある。新しい学 問分野が生まれればそれ 定するのが分化アプロー て専門分野が細分化され 化と統合という概念も役 に対応して授業科目を設 には、カリキュラムの分 授業科目を設定する際 用いて各授業のカリキュ 列する。ナンバリングを 各学年次に授業科目を配 ざまな方法がある。学生 の学習の段階にあわせて いうシーケンスにもさま どのように配列するかと 設定された授業科目を

は、知識を身につける講 習、知識を現場で活用す 視したカリキュラムで る実習といった配列の方 義、知識を活用する演 列がある。職業教育を重 配列の方法は、単純な

場がある。系統主義は学 ュラムを編成する立場で 問の体系にそってカリキ

経験主義という2つの立

や内容の関連性を図にま

いというものではなく リキュラムを編成する立 場である。どちらが正 学生の興味や生活からカ

ばれる1学期制、前後期 方としては、通年制とよ

とめたものであり、カリ キュラムツリーなどと呼

回とは異なる形式を採用

来多かった9分授業の15 業などの方法があり、従

場合は、授業の開始時間

と各授業科目との整合性

研究といった大まかな配 専門教育、講義から卒業 ラム上の位置づけを明確 積み上げだけではない工 的な内容、教養教育から にすることもできる。 基礎的な内容から応用